



軽防協ニュース速報

2026 年第 2 四半期（4 月-6 月）の伝染病発生状況

2026 年 7 月配信

(International Collating Centre からの情報)

ICC の概要

International Collating Centre (ICC) は、35 年以上にわたり、世界の馬の疾病発生データを編集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監督されています。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は、国内外の馬の疾病発生について、日々電子メールでアラートを配信しています。報告を受け取るには equinesurveillance@vet.cam.ac.uk までご連絡ください。ICC ビューアーのウェブサイトでは、詳細なインタラクティブレポートが提供されています。利用者は、国または地域ごとにデータを分析したり、特定の日付範囲や状態を選択したり、報告された発生の概要を表示したりできます。 www.equinesurveillance.org/iccview をご覧ください。

レポートの概要

この文書は、2026 年の第 2 四半期における国際的な疾病発生の概要を示している。リアルタイム ICC レポートで報告されていなかった国の疾病発生に関する追加の概要レポートも提示されている。この追加情報は、本レポート全体を通して、該当する表と本文中に#印を付して示されている。このレポートに示されているデータは、慎重に解釈する必要がある。検査のために提出されるサンプルや、その後に報告に至るまでの方法には多少のバイアスがある可能性がある。したがって、これらのデータは国際的な馬の集団における伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。 疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国に疾病が存在しないことではない。各表は国別に報告された疾病の発生件数をまとめたものであり、複数頭含まれる可能性がある。レポートは、身体の器官別に分類されている。

- ・繁殖器疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・その他の疾患

繁殖器疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-3	EHV-4	馬パラポックス	Q 熱	<i>Strep. zooepidemicus</i>
ベルギー	-	2	-	-	-	1	1
カナダ	-	1	-	-	-	-	-
フランス	-	1	1	-	-	-	-
ドイツ	7	2	-	-	-	-	-
アイルランド	-	7	-	2	1	-	-
日本	-	#3	-	-	-	-	-
オランダ	-	3	-	-	-	-	-
スウェーデン	-	3	-	-	-	-	-
イギリス	-	2	-	1	2	-	-

: 四半期後に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎 (CEM)

ドイツ

バーデン・ヴュルテンベルク州、バイエルン州、ヘッセン州、ニーダーザクセン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の別々の施設で 7 例の単発例が報告された。陽性診断は生殖器スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による流産

ベルギー

東フランドース州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は胎子肺および肝臓組織の PCR 検査で行われた。

カナダ

アルバータ州の施設で 1 例報告された。満期で流産した牝馬 1 頭が関与していた。

フランス

カルヴァドス県の施設で 1 例報告された。陽性診断は胎子組織の PCR 検査で行われた。

ドイツ

ニーダーザクセン州およびメクレンブルク・フォアポンメルン州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は子宮頸部スワブ、呼吸器スワブ、胎子肝臓および胎子肺組織の組み合わせによる PCR 検査で行われた。

アイルランド

レンスター地方（3 例）、マンスター地方（3 例）、アルスター地方（1 例）で計 7 例の単発例が報告された。

#日本

第 2 四半期中、日本中央競馬会（JRA）より、ワクチン接種済みのサラブレッド 3 頭および未接種の非サラブレッド 1 頭（計 3 施設）において、EHV-1 による流産 2 例および新生子死 2 例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

オランダ

ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

ノールボッテン県、ストックホルム県、ウプサラ県の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。

イギリス

ノーサンプトンシャーおよびスコティッシュ・ボーダーズの別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は胎子または胎盤組織の PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 3 型（EHV-3）（馬皰疹）

フランス

オート・ロワール県の施設で 1 例報告された。陽性診断はスワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 4 型（EHV-4）による流産

アイルランド

レンスター地方（1 例）およびマンスター地方（1 例）で 2 例の単発例が報告された。

イギリス

パース・アンド・キンロスの施設で 1 例報告された。臨床症状として胎盤早期剥離（red bag delivery）を認めた。陽性診断は胎盤組織の PCR 検査で行われた。

馬パラポックス（Equine Parapox）

アイルランド

馬の潰瘍性皮膚炎のアラートにおいて、原因菌としてウマパラポックスウイルスが報告された。陽性診断はメタゲノミクスシーケンスおよび PCR 分子診断で行われた。

イギリス

オックスフォードシャーおよびサフォークの施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断はスワブまたはかさぶたの PCR 検査で行われた。

Q 熱 (*Coxiella burnetii*)

ベルギー

ナミュール州の施設で新生子死を引き起こした 1 例が報告された。陽性診断は肺および肝臓組織の PCR 検査で行われた。

Streptococcus zooepidemicus (S.zoo) による流産

ベルギー

東フランドース州の施設で 1 例報告された。陽性診断は胎子肝臓および肺組織の PCR 検査で行われた。

呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-2	EHV-4	EHV-5	EI	ロドコッカス	腺疫	腺疫 /EHV-1	S. zoo
ベルギー	-	1	-	3	2	-	-	-	-
カナダ	-	-	-	-	-	-	3	-	-
チェコ	6	-	2	-	4	-	2	-	-
フランス	5	-	38	-	23	8	26	-	-
ドイツ	14	-	4	-	10	-	3	-	-
ハンガリー	2	-	-	-	-	-	-	-	-
アイルランド	-	-	12	-	23	11	10#	-	-
イタリア	1	1	1	1	-	-	-	-	-
オランダ	8	-	17	-	16	11	30	-	-
スロベニア	-	-	-	-	2	-	-	-	-
南アフリカ	-	-	3#	-	-	-	-	-	-
スウェーデン	2	-	2	-	2	-	5	1	2
スイス	-	-	1	-	2	-	1	-	-
イギリス	2	-	10	-	134	-	*	-	-
アメリカ	5	-	-	-	14	-	51	-	-

#：四半期後に報告があった追加情報

*：英国における腺疫報告の詳細は www.equinesurveillance.org/ses を参照のこと。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による呼吸器感染症

チェコ

中央ボヘミア州、リベレツ州、東プラハ、西プラハ、南モラヴィア州の別々の施設で 6 例の単発例が報告された。

フランス

5 件の発生が報告された。3 件はロワール・アトランティック県、ソーヌ・エ・ロワール県、セーヌ・マリティーム県の各施設における単発例、2 件はジロンド県およびローヌ県の各施設で 2 例確認された。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

ニーダーザクセン州およびノルトライン・ヴェストファーレン州の別々の施設で 14 例の単発例が報告された。陽性診断は鼻咽頭または鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

ハンガリー

ホルトバジーおよびメゼーエルシュの別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

イタリア

フィレンツェの施設で 3 頭が関与する 1 件の発生が報告された。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

オランダ

フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、オーファーアイセル州、ゾイトホルント州、ユトレヒト州の別々の施設で 8 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

セーデルマンランド県およびストックホルム県の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

イギリス

オックスフォードシャーおよびスタッフォードシャーの別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として発熱、鼻汁、発咳を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

アメリカ

ネブラスカ州、オレゴン州、ワシントン州、ウィスコンシン州の別々の施設で 5 例の単発例が報告された。臨床症状として発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、浮腫を認めた。

馬ヘルペスウイルス 2 型 (EHV-2) による呼吸器感染症

ベルギー

東フランドース州の施設で 1 例報告された。臨床症状として発熱、鼻汁、発咳を認めた。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

イタリア

ラツィオ州の施設で EHV-5 との混合感染の 1 例が報告された。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染症

チェコ

プラハ市およびヴィソチナ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

フランス

38 件の発生が報告された。30 件はアン県、バ＝ラン県、シェール県、カルヴァドス県、ドルドーニュ県、イル・エ・ヴィレーヌ県、イゼール県、ロワール・アトランティック県、ロワレ県、オート・ソーヌ県、メーヌ・エ・ロワール県、マイエンヌ県、オルヌ県、ピレネー・アトランティック県の各施設における単発例。6 件はアン県、カルヴァドス県、メーヌ・エ・ロワール県、セーヌ・マリティーム県、ヴォージュ県の各施設で 2 例。1 件はカルヴァドス県で 5 例、1 件はカルヴァドス県で頭数未公表かつ *Streptococcus zooepidemicus* との混合感染が確認された。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

4 件の発生が報告された。3 件はニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設における単発例、1 件はシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の施設で 15 例確認された。陽性診断は鼻咽頭、鼻腔、または特定されていないスワブの PCR 検査で行われた。

アイルランド

レンスター地方（7 例）およびマンスター地方（5 例）で計 12 例の単発例が報告された。

イタリア

ローマの施設で 1 例報告された。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

オランダ

フレヴォラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、ホーヘフェーン、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、ゾイトホラント州、オーファーアイセル州の別々の施設で 17 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

#南アフリカ

第 2 四半期中、SAEHP よりガウテン州（2 例）および西ケープ州（1 例）の施設で 3 例の EHV-4 感染が報告された。

スウェーデン

ハッランド県およびノールボッテン県の別々の施設で *Streptococcus zooepidemicus* との混合感染を含む 2 例の単発例が報告された。

スイス

ベルン州の施設でピロプラズマ症との混合感染の 1 例が報告された。臨床症状として発熱および非特異的な呼吸器症状を認めた。

イギリス

10 件の発生が報告された。8 件はアバディーン、イースト・ヨークシャー、エセックス、シュロップシャー、サリー、ウェスト・ヨークシャー、ウスターシャーの各施設における単発例、2 件はグロスターシャーおよびノーフォークの各施設で 2 例確認された。臨床症状として発咳、食欲不振、倦怠感、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は鼻腔および鼻咽頭スワブの PCR 検査または鼻咽頭スワブの LAMP 法で行われた。

馬ヘルペスウイルス 5 型 (EHV-5) による呼吸器感染症

ベルギー

フラムス・ブラバント州および西フランドース州の別々の施設で、1 例の EHV-2 との混合感染を含む 3 例の単発例が報告された。臨床症状として発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

イタリア

ラツィオ州の施設で 2 頭が関与する 1 件の発生が報告された。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

馬インフルエンザ (EI)

ベルギー

東フランドース州および西フランドース州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

チェコ

モラヴィア・スレジア州、プラハ、東プラハ、南モラヴィア州の別々の施設で 4 例の単発例が報告された。

フランス

23 件の発生が報告された。21 件はカルヴァドス県、ガール県、オート・ピレネー県、イゼール県、ロワール・アトランティック県、モルビアン県、ノール県、オワーズ県、オルヌ県、ローヌ県、セーヌ・マリティーム県、タルヌ県、ヴァール県、ヴォクリューズ県、イヴリーヌ県の各施設における単発例。2 件はエーヌ県およびロワール・アトランティック県の各施設で 2 例確認された。臨床症状として発咳、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

10 件の発生が報告された。6 件はバーデン・ヴュルテンベルク州、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州、テューリンゲン州の各施設における単発例。1 件はニーダーザクセン

州の施設で 2 例、2 件はバイエルン州の別々の施設で 3 例、1 件はバーデン・ヴュルテンベルク州の施設で 4 例確認された。臨床症状として発咳、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は鼻腔または特定されていないスワブの PCR 検査で行われた。

アイルランド

レンスター地方（14 例）およびマンスター地方（9 例）で計 23 例が報告された。

オランダ

ドレンテ州、フリースラント州、ヘルダーラント州、ノールトブラバント州、ノールトホルラント州、オーファーアイセル州の別々の施設で 16 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スロベニア

オスレドニェスロヴェンスカ県の施設で、1 例の単発例および 1 施設で 4 頭が関与する計 2 件の発生が報告された。臨床症状として発咳、鼻汁、発熱を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

スコーネ県およびストックホルム県の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

スイス

チューリッヒ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として発熱および非特異的な呼吸器症状を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。

イギリス

2026 年 4 月 1 日以降、EIDS は英国全土の 57 郡で 136 件の検査確定による馬インフルエンザ発生報告を受領した。EIDS が把握している発生数は計 186 件に上るが、疫学情報または匿名報告の許諾が得られていないものも含まれる。最新の発生状況の報告書は[最終ページ](#)に添付。また、過去の報告書はwww.equinesurveillance.orgを参照のこと。

アメリカ

14 件の発生が報告された。11 件はネブラスカ州、オレゴン州、ウィスコンシン州の各施設における単発例で、うち 1 例は EHV-4、もう 1 例は腺疫との混合感染であった。3 件はノースダコタ州、オレゴン州、ウィスコンシン州の各施設で 2 例確認された。臨床症状として発咳、倦怠感、鼻汁、発熱、呼吸雑音、尿滲出、体重減少を認めた。

ロドコッカス・エクイ (*Rhodococcus equi*)

フランス

アヴェロン県、カルヴァドス県、シャラント・マリティーム県、ロワール・アトランティック県、ローヌ県、オルヌ県の別々の施設で 8 例の単発例が報告された。陽性診断は気管洗浄液または鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

アイルランド

レンスター地方で 11 例の単発例が報告された。8 例は PCR 検査（うち 4 例は細菌培養も陽性）、残り 3 例は細菌培養のみで陽性が確認された。

オランダ

フレヴォラント州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州の別々の施設で 11 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

腺疫 (Strangles)

カナダ

アルバータ州およびオンタリオ州の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。臨床症状として膿瘍形成、鼻汁、発熱、体重減少を認めた。

チェコ

フラデツ・クラロヴェー州およびリベツ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

フランス

26 件の発生が報告された。24 件はエーヌ県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、カンタル県、シャラント・マリティーム県、ドローム県、ウール・エ・ロワール県、ジロンド県、アンドル県、ロワール県、ロワール・アトランティック県、モルビアン県、ノール県、オルヌ県、パ・ド・カレー県、パリ、ローヌ県、ソーヌ・エ・ロワール県、セーヌ・マリティーム県の各施設における単発例。1 件はジロンド県で 2 例、1 件はローヌ県で 3 例確認された。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

ドイツ

ニーダーザクセン州およびノルトライン・ヴェストファーレン州の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。臨床症状として喉嚢拡大、鼻汁、発熱、リンパ節腫脹を認めた。陽性診断は喉嚢洗浄液または鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

#アイルランド

レンスター地方（7 例、うち 1 例は細菌培養でも陽性、2 例は同一施設）およびマンスタター地方（3 例、うち 2 例は PCR 陽性、1 例は PCR と細菌培養の両方で陽性）の施設で 10 例の単発例が報告された。

オランダ

ドレンテ州、フリースラント州、ヘルダーラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オファーアイセル州、ゾイトホラント州の別々の施設で 30 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

5 件の発生が報告された。4 件はブレーキング県、エンシェーピング市、エステルイエータランド県、スコーネ県の各施設における単発例、1 件はスコーネ県の施設で複数頭が確認された。

スイス

ザンクト・ガレン州の施設で 1 例報告された。臨床症状として点状出血、発熱、肢の浮腫を認めた。

アメリカ

51 件の発生が報告された。45 件はコロラド州、フロリダ州、ジョージア州、メリーランド州、ミシガン州、ネブラスカ州、ニューハンプシャー州、ノースダコタ州、オレゴン州、ペンシルベニア州、ワシントン州、バージニア州、ウェストバージニア州、ウィスコンシン州の各施設における単発例。4 件はコロラド州、コネチカット州、ネブラスカ州、オレゴン州の各施設で 2 例、1 件はモンタナ州で 3 例、1 件はネブラスカ州で複数頭確認された。臨床症状として両側性喉嚢排膿、発咳、食欲不振、倦怠感、下顎リンパ節腫脹、鼻汁、発熱、呼吸器症状、下顎膿瘍、リンパ節自潰を認めた。

腺疫 / EHV-1 混合感染

スウェーデン

スコーネ県の施設で EHV-1 との混合感染 1 例が報告された。

Streptococcus zooepidemicus による呼吸器感染

スウェーデン

ヨンショーピング県およびヴェルムランド県の別々の施設で、1 例の EHV-4 との混合感染を含む 2 例の単発例が報告された。

消化器疾患

発生国	<i>Clostridium</i> spp.	馬コロナウイルス	<i>Rhodococcus equi</i>	サルモネラ症
フランス	-	-	1	-
ドイツ	1	-	-	-
アイルランド	-	-	-	5
オランダ	-	14	-	8
アメリカ	-	-	-	1

#：四半期後に報告があった追加情報

Clostridium spp. (クロストリジウム属菌)

ドイツ

スイス/ドイツ国境の施設で 1 例報告された。臨床症状として下痢を認めた。

馬コロナウイルス

オランダ

フレヴォラント州、フリースラント州、リンブルフ州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州の別々の施設で 14 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

Rhodococcus equi

フランス

ウール県の施設で 1 例報告された。陽性診断は糞便の PCR 検査で行われた。

サルモネラ症

アイルランド

レンスター地方（4 例、うち 1 例は PCR と細菌培養の両方で陽性、2 例は培養のみで陽性）およびコノート地方（1 例、培養で陽性）で計 5 例の単発例が報告された。

オランダ

フリースラント州、ヘルダーラント州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州の別々の施設で 8 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

アメリカ

メリーランド州の施設で 1 例報告された。臨床症状として発熱、下痢、全身性炎症反応症候群（SIRS）を認めた。陽性診断は糞便の PCR 検査および細菌培養で行われた。

神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	WNV
カナダ	-	-	2	-
フランス	-	-	1	1
アイルランド	-	-	2	-
オランダ	-	-	1	-
南アフリカ	-	#48	-	#2
イギリス	-	-	1	-
アメリカ	2	-	9	1

#：四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎（EEE）

アメリカ

フロリダ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として急性発症の斜頸、全肢の虚弱、側臥位への進行を認めた。

ウマ脳症ウイルス（EEV）

#南アフリカ

第 2 四半期中、EEV は南アフリカにおける風土病とされている。全州から計 48 例が報告された。内訳は以下の通り。東ケープ州（3 例）、フリーステイト州（2 例）、ハウテン州（22 例）、クワズール・ナタール州（6 例）、リンポポ州（3 例）、ムプマランガ州（2 例）、北ケープ州（5 例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（1 例）、西ケープ州（4 例）。

馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による神経疾患

カナダ

オンタリオ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として急性後肢運動失調、麻痺、横臥、全四肢の浮腫、尿失禁を認めた。陽性診断は鼻腔スワブおよび血液サンプルの PCR 検査で行われた。

フランス

セーヌ・エ・マルヌ県の施設で 1 例報告された。臨床症状として倦怠感、震え、運動失調、不全麻痺を認めた。

アイルランド

レンスター地方の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

オランダ

ゾイトホラント州の施設で 1 例報告された。臨床症状として膀胱拡張、後肢麻痺、横臥を認めた。陽性診断は EDTA 血液および鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

イギリス

ウェスト・ヨークシャーの施設で EHV-4 との混合感染 1 例が報告された。臨床症状として運動失調、固有受容感覚欠損、横臥を認めた。陽性診断は院内ポイント・オブ・ケア断熱恒温 PCR (iiPCR) で行われた。

アメリカ

フロリダ州、インディアナ州、ニュージャージー州、オクラホマ州、ロードアイランド州、テキサス州、バージニア州の別々の施設で 9 例の単発例が報告された。臨床症状として運動失調、膀胱弛緩、旋回、粘膜チアノーゼ、遠位肢浮腫、下痢、心拍数増加、斜頸、起立不能、倦怠感、鼻汁、発熱、呼吸器症状を認めた。

ウエストナイルウイルス (WNV)

フランス

オート・コルス県の施設で 1 例報告された。臨床症状として運動失調および発熱を認めた。

アメリカ

カリフォルニア州の施設で 1 例報告された。臨床症状として運動失調、右前肢の引きずり、軽度の脳神経麻痺 (craniofacial deficits) を認めた。

#南アフリカ

第 2 四半期中、西ケープ州の施設で 2 例報告された。

その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	EIA	EGS
カナダ	-	-	2	-
ドイツ	-	3	-	-
ハンガリー	-	-	2	-
レソト	3	-	-	-
オランダ	-	3	-	-
スイス	-	2	-	-
南アフリカ	#53	#3	-	-
イギリス	-	-	-	40
アメリカ	-	-	9	-

発生国	EVA	ハト熱	ピロプラズマ症	トリパノソーマ (<i>T. evansi</i>)
フランス	2	-	-	-
イタリア	-	-	85	-
オランダ	-	-	1	-
スイス	-	-	2	-
南アフリカ	-	-	#124	-
アメリカ	-	1	-	-
ウルグアイ	-	-	-	1

#：四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫（AHS）

レソト

クアチャスネックの Ha Raene、Ha-Semethe、Ha-Sehlooho の各施設で計 3 件の発生（単発 2 件、1 施設で 2 例 1 件）が報告された。陽性診断は臨床症状により確認された。

#南アフリカ

第 2 四半期中、AHS は西ケープ州の AHS 管理区域を除き、南アフリカで風土病とされている。東ケープ州および西ケープ州を除く全国で 53 例が報告された。内訳は以下の通り。フリーステイト州（9 例）、ハウテン州（15 例）、クワズール・ナタール州（5 例）、リンポポ州（10 例）、ムプマランガ州（3 例）、北ケープ州（8 例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（3 例）。

アナプラズマ症

ドイツ

ニーダーザクセン州の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。陽性診断は EDTA 血液の PCR 検査および培養検査で行われた。

オランダ

ヘルダーラント州およびノールトホラント州の別々の施設で 3 例の単発例が報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

#南アフリカ

第 2 四半期中、クワズール・ナタール州（1 例）および西ケープ州（2 例）で 3 例報告された。

スイス

ベルン州およびヴォー州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。臨床症状として貧血および発熱を認めた。陽性診断は PCR 検査および血液塗抹標本で行われた。

馬伝染性貧血（EIA）

カナダ

マニトバ州の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。

ハンガリー

アボニ、ツェグレード、パーティ、ブダエルシュの別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は血清学的検査で行われた。

アメリカ

9 件の発生が報告された。5 件はカリフォルニア州およびネバダ州の別々の施設における単発例、1 件はカリフォルニア州の施設で 2 例、1 件はワシントン州の施設で 5 例、2 件はカリフォルニア州の別々の施設で 6 例確認された。

馬のグラスシックネス（EGS）

イギリス

Equine Grass Sickness Fund に 38 例の EGS 症例が報告され、その大部分（67%、24 例）がスコットランドで発生し、5 月が最も高い月間発生率（61%、23 例）を記録した。転帰が判明している症例のうち、死亡率は 100%（33 例）であり、急性症状が最も一般的（69%、24 例）で、臨床症状のみによる診断が 66%（23 例）を占めた。罹患馬の中位年齢は 6 歳（四分位範囲: 4-10.5 歳）であった。

馬ウイルス性動脈炎（EVA）

フランス

ドルドーニュ県およびメーヌ・エ・ロワール県の別々の施設で 2 例の単発例が報告された。陽性診断は精液の PCR 検査で行われた。

ハト熱（Pigeon Fever）

アメリカ

オレゴン州の施設で 1 例報告された。

ピロプラズマ症

イタリア

Babesia caballi の発生が 23 件報告され、ラツィオ州およびトスカーナ州の施設で確認された。陽性診断は EDTA 血液の PCR 検査で行われた。*Theileria equi* の発生が 62 件報告され、アブルッツォ州、ラツィオ州、トスカーナ州の施設で確認された。陽性診断は EDTA 血液の PCR 検査で行われた。

オランダ

Theileria equi の 1 例がリンブルフ州の施設で報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スイス

1 例のライム病との混合感染を含む 2 例の単発例がジュラ州およびトゥールガウ州の別々の施設で報告された。臨床症状として貧血、パフォーマンス低下、体重減少を認めた。陽性診断はピロプラズマ症については PCR 検査、ライム病については ELISA 法で行われた。

#南アフリカ

第 2 四半期中、ピロプラズマ症は南アフリカで風土病とみなされており、全 9 州から報告された。*B. caballi*、*T. equi*、*T. hanyi* がそれぞれ以下のように報告された。*B.*

caballi: ハウテン州（2 例）、クワズール・ナタール州（1 例）、リンポポ州（1 例）、西ケープ州（1 例）。*T. equi*: 東ケープ州（3 例）、フリーステイト州（4 例）、ハウテン州（61 例）、クワズール・ナタール州（2 例）、リンポポ州（9 例）、ムプマランガ州（8 例）、北ケープ州（4 例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（1 例）、西ケープ州（25 例）。*T.*

hanyi: ハウテン州（1 例）、ムプマランガ州（1 例）。

スーラ病 (*Trypanosoma evansi*)

ウルグアイ

タクアレンボーの施設で3頭が関与する1件の発生が報告された。臨床症状として後肢のふらつき、2頭における慢性的悪化、筋萎縮、体重減少、虚弱を認めた。陽性診断はPCR検査で行われた。

英国における馬インフルエンザ発生状況（2026 年春・夏）

EIDS アップデート：2026 年 7 月 29 日

(Equine Infectious Disease Surveillance：EIDS からの情報)

概要

2026 年 4 月 1 日以降、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) プログラムは、英国の 57 郡にわたり、検査で確定された 135 件の馬インフルエンザ (EI) アウトブレイクの報告を受領した。7 月 16 日の前回のアップデート以降、EIDS はカーマーゼンシャーにおける追加の検査確定アウトブレイク 1 件の報告と、ハンプシャーで以前に報告されたアウトブレイクに関連する死亡馬 (fallen stock) における追加の確定症例 6 例の報告を受領した。EIDS は合計で 185 件の確定アウトブレイクを把握しているが、すべての症例について疫学情報や匿名報告の許諾が得られているわけではない。これらの数値は EIDS が把握しているアウトブレイクのみを示しており、実際にはさらに多くのアウトブレイクが発生している可能性が高い。

サーベイランス状況は引き続き心強いものである。夏の馬の移動や混合に伴う疾病拡大の機会増加にもかかわらず、予想された報告件数の急増は発生しなかった。馬インフルエンザの循環は続いているものの、慎重ながらも楽観視できる状況である。

しかし、さらに 6 頭のニューフォレストポニーが死亡状態で発見され、その後に馬インフルエンザ陽性と判定されたという報告は、馬インフルエンザと死因との間の決定的な関連性は確立されていないものの、特に免疫を持たない集団においてウイルスが重大な影響を及ぼし得ることをタイムリーに思い起こさせるものである。

主な指標（キーポイント）

- 影響を受けた施設の **62%** (83/135) で最近の馬の移動歴があった。
- 報告されたアウトブレイクの **60%** (81/135) がワクチン未接種馬で発生した。

ワクチン接種状況（計 135 施設）

- ワクチン接種済み: 17/135 施設 (**13%**)
- ワクチン未接種: 81/135 施設 (**60%**)
- 接種状況不明: 33/135 施設 (24%)
- 混合（接種馬・未接種馬の両方を含む施設）: 4/135 施設 (3%)

移動歴（計 135 施設）

- 最近の移動歴あり: 83/135 施設 (**62%**)

- 最近の移動歴なし: 10/135 施設 (7%)
 - 移動歴不明: 42/135 施設 (31%)
-

アウトブレイクの先を見据えて

全国的なサーベイランス状況は心強いものであるが、継続的な警戒が不可欠である。アウトブレイク活動が沈静化する中、これは以下のような手段により、長期的なインフルエンザ予防を強化する理想的な機会である。

- ワクチン接種プログラムの見直し
- 飼育場（ヤード）のバイオセキュリティの強化
- 新規入厩馬に対する検疫プロトコルの実施
- 呼吸器疾患の兆候の監視
- 必要時における明確な隔離手順の確保

このアウトブレイクへの対応は、疾病予防に対する事前の積極的なアプローチの価値を実証した。これらの実践を日常的な馬の管理に組み込むことで、馬コミュニティは馬インフルエンザのリスクを低減し続けるだけでなく、将来の感染症の脅威に対してより良い備えをすることができる。

サーベイランスの強化に向けて

EIDS は、ポイント・オブ・ケア検査（簡易検査）を用いて診断されたものを含め、検査で確定されたすべての馬インフルエンザ症例の報告を歓迎している。匿名化された郡レベルのデータを共有する許諾は、国のサーベイランスを強化し、より広範な馬の集団を保護するのに役立つ。

馬インフルエンザが疑われる症例に対する無料の検査受託は、Rosssdales Laboratories との提携のもと、EIDS が実施する HBLB（Horse-race Betting Levy Board）助成によるインフルエンザサーベイランス計画を通じて引き続き利用可能である。